



すわべ たかとし
諏訪部 孝敏
(育成)

eスポーツについて

問 近年、eスポーツは大きな注目を集めており、まちおこしなどに活用している自治体も増えている。当市においてもeスポーツを普及していくべきと考えるが、認識を伺う。

部長 令和5年2月に富士宮市で開催されたフィールドディスクバレーゲームin富士宮は、市内の歴史・文化や観光スポットなど、地域資源を活用し、多くの来訪者が見込めるようなeスポーツの大会やイベントの開催は、市の観光誘客につながっていくものと考えており、今後はeスポーツイベント実施団体などの情報を収集するとともに、市内開催に向けた積極的なアプローチに努めて行く。

少子高齢化対策について

問 急速な少子高齢化及び人口減少が進む中

で、団塊の世代が全員75歳以上になる2025年問題に向けて、現状の課題と今後の取組と少子化対策について伺う。

部長 2025年問題への対策について、市内の地域包括支援センターには、高齢者が自分で買物に行くことが困難であるといった相談もある。その際は、その方に合った方法を提案し、対応している。子育て支援策については、令和4年度、新児童館オープンや物価高騰の影響を受けた子育て世帯への、子育て世帯応援給付金事業などの新たな独自事業も実施している。

手話言語条例制定後の現状について

問 当市で手話言語条例が制定されたことにより、どのように変化したのか伺う。

部長 手話言語条例制定後の取組については、第5次総合計画で、安心して地域生活を送るための環境整備として、手話通訳者などの養成講座を開催し、意思の疎通を支援する人材育成に努めることを施策に掲げて取り組んでいる。



わかばやし しづこ
若林 志津子
(日本共産党議員団)

中学校制服の選択の幅を広げることについて

問 制服にキュロットの導入及び生徒と保護者が答えるアンケートを提案するがいかがか。

教育長 キュロットの導入は1つの案としてあると思う。制服選択制等は、生徒会が中心となり話し合い、導入していくことが望ましい。この提案により学校運営の中で変わったのは、生徒の意見を聞くということが、一番学校の意識として変わった。生徒会が中心となり校則の見直しから始めて、アンケートを取るとの話も出てくる。アンケートは必要ではないかと考える。

保育園などの子どもの対応で、問題がある場合の把握と保育士配置基準の改善を

問 ①昨年、県内で発生した保育士による不適切な行為の要因は何か。②国の定める配置基準は75年前に定められ、乳児と1～3歳児は改

善がされたが、4歳児以上の30人に1人は75年間変わっていない。配置人数を増やす改善を。

部長 ①園児の人権・人格の尊重への配慮に欠けていたのでは。②私立保育所、認定こども園は国の配置基準に沿っている。公立保育園の1歳児は国の配置基準より手厚くしている。

市長 見直しを国に迫っていくことも大事だと思う。全国市長会に向け、県の市長会などで要望していきたいと思っている。

福島第一原発事故の教訓を周知し生かす方法

問 福島の教訓を行政が市民にどのように周知するのか。

部長 平成30年に富士宮市地域防災計画に原子力災害対策計画を追加し、原発事故の対策に備えている。引き続き周知していきたい。

問 原発に対する市長の考えを伺う。

市長 私は原発に反対。原発を核兵器と同じくらい恐ろしいものだ認識し、原子力に頼らず再生可能エネルギーによる発電を推進すれば、人類の継続的な活動は可能だと確信している。